臺灣日日新報 昭和十八年十二月三日（金曜日） 第一万五千七百十八號 （一）

臺灣日日新報

（第二版）（明治二十九年九月九日第三種郵便物認可） 昭和十八年十二月三日（金曜日） 本日夕刊共六頁

笹本、飛田兩隊に感状 上聞に達す

江北作戰に敢闘 壓倒的勝因を拓く

【東部ニューギニア方面軍發表（十二月二日十六時）】昭和十八年秋季江北地區作戰に參加し常に中隊の中堅として重要任務に邁進し特に蘭領西部ニューギニア北東海岸作戰に於て敵上陸點の選定、上陸後の敵情偵察、上陸點の警戒等に任じ敵の上陸後は直ちに敵陣地に對し果敢なる攻撃を敢行して敵を海岸に壓迫し敵の逆上陸を封殺して敵に多大の損害を與へ我が上陸作戰の成功に寄與する所大なりし笹本中隊（中隊長陸軍歩兵大尉笹本中）及び飛田小隊（小隊長陸軍歩兵少尉飛田小）に對し陸軍大臣より感狀を授與せられた

感狀

中畑部隊笹本中隊

飛田小隊

右は中隊長陸軍歩兵大尉笹本中の指揮を以て昭和十八年秋季に於ける江北地區作戰に參加し常に隊の中堅中隊として重要任務に邁進し特に蘭領西部ニューギニア北東海岸作戰に於ては敵上陸點の選定、上陸後の敵情偵察、上陸點の警戒等に任じ敵の上陸後は直ちに敵陣地に對し果敢なる攻撃に移り敵を海岸に壓迫し敵の逆上陸を封殺して敵に多大の損害を與へ我が上陸作戰の成功に寄與する所大なりし笹本中隊及び小隊の勇戰敢闘の精神は洵に軍人の模範とするに足るものあり

陸軍省發表（十二月二日十六時）昭和十八年秋季江北地區作戰に於て武功抜群なりし笹本中隊及飛田小隊に對し陸軍大臣より感狀を授與せられ本日隊に傳達せられた

感狀

中畑部隊笹本中隊

飛田小隊

在る中隊長陸軍歩兵大尉笹本中の指揮を以て昭和十八年秋季に於ける江北地區作戰に參加し常に隊の中堅中隊として重要任務に邁進し特に蘭領西部ニューギニア北東海岸作戰に於ては敵上陸點の選定、上陸後の敵情偵察、上陸點の警戒等に任じ敵の上陸後は直ちに敵陣地に對し果敢なる攻撃に移り敵を海岸に壓迫し敵の逆上陸を封殺して敵に多大の損害を與へ我が上陸作戰の成功に寄與する所大なりし笹本中隊及び小隊の勇戰敢闘の精神は洵に軍人の模範とするに足るものあり

右は笹本中隊の善戰敢闘の精神を以て陸軍大臣より感狀を授與せられたるものにして其の武功抜群なり

先づ第五旦團に在りて敵の右翼の背後に進出し最も重要なる任務を遂行して我が上陸を容易ならしめ又其の後引續き敵の背後に進出して大隊主力の攻撃を容易ならしめ中隊に獨を失せる敵の左側背に進出し最も重要なる任務を遂行するや

社說

第四次キ島沖航空戰

日本ギルバート諸島に對する第四次の攻撃は、去る十一月二十七日以來、十二月十日迄、實に十四日間に亘つて續けられた。即ち、この間、日本海軍航空部隊は、連日連夜、敵の根據地タラワ、マキン、アパママ、ジャルート、ナウルの諸島に對して、大規模且つ執拗な攻撃を加へたのである。

新しくして、且つ十二月十日以來二回の攻撃に亘つて敵に與へた損害は、撃沈、撃破、擊墜、擊滅、炎上、破壞、擊墜、擊滅、炎上、破壞、擊墜、擊滅、炎上、破壞

あゝ如實に示現す 臺灣一家の總常會

一日發會された第二回臺灣一家の總常會。皇軍中核部隊の奮戰振りを聽き、總督の訓辭を拜し、各會員は一家の總力を擧げて大東亞戰に邁進することを誓ひ合つた。會場の模樣を傳へ、會員の感激の聲を聽く。

徴兵制と健民健兵

當局の意圖を闡明

臺灣協力會 議に於ける 督府、皇奉側の說明

臺灣協力會議に於ける總督府、皇奉側の說明は、いよいよ本島に六月十九日徴兵の魔手が伸びるに至つたことを明かにしたものであつて、本島青年の一家の戰力發揮に對する重大なる關心事であるが、本島青年の將來の進路に對する指針として、又は家庭の父兄の心構へとして、極めて重要な意義を有するものである。

體力の增強に萬全 徴兵へ備ふ 豫備檢查

勤奉青年隊と連繫 健民錬成の樞軸！ 青年學校教育

皇奉運動新段階へ 徴兵制は統治の華

積亂雲を衝き陸鷲堂々の爆撃行

今ぞ、世紀の大進軍 陸海軍志願＝若人殺到

志願學徒續る內臺美談 總てを御楯へ捧ぐ 超越したこの心境

南海に散る 勇士の妻は健氣

白衣勇士へ 銃後の赤誠

堀內中佐出發

前線へ 可憐な慰問袋 慰問使 展示會

南方要員募集

假移轉謹告

女子事務員 男子小使 募集

臺灣軍將兵慰問金

會葬御禮

第二十六回決算報告

第二回決算公告

第二期決算公告

第九回決算公告

第貳期決算公告

第一回決算報告

第三期決算公告

昭和十八年三月二十八日（日曜日）　朝日新聞　（四）

待望の！若櫻日が出て

夜明前志願者八割
竹槍の凄い練習ぶり

時間線上ぴて受付
花道嬢の詰め

青年團單位に取纏め
所管區出所に一齊出

高砂義勇隊忠魂碑

一字六尺大の題字書

大詠年修練道場
武藏工業生徒全員

徴兵制に備へて（一）

青年學校生徒の錬成ぶり

一日も早く戰列を
勇ましい入營の朝

山の同胞達に講演

入日間で十四萬人

愛國處女部隊獻納

大詔奉戴日

國民動員實施要綱

嘉義初日受付總數

郷土部隊

今日の問題

今日の漫畫

今日の放送

今日の映畫

今日の演藝

今日の催し

今日の講演

今日の會合

今日の展覽會

今日の音樂會

今日の相撲

今日の野球

今日の競馬

今日の競輪

今日の競艇

今日の競技

今日の試合

今日の映畫

今日の演藝

今日の催し

今日の講演

今日の會合

今日の展覽會

今日の音樂會

今日の相撲

今日の野球

今日の競馬

今日の競輪

今日の競艇

今日の競技

今日の試合

夕刊 臺灣新民 昭和十八年十二月三日（金曜日） 臺灣日日新報 第一萬五千七百十八號 （第二版）

歸還八將星に賜謁

祝酒を拜受御殊遇に感激

【東京發】第二陣より歸還したる高野源中將、今西六郎、岡部直三郎、同志位正中將を始め山田乙三、田中静壹兩大將、畑俊六元帥、杉山元、寺内壽一兩元帥、梅津美治郎、畑俊六兩大將、毛利英於菟丸、眞田穆一、天谷孝久、吉田悳兩中將がそれぞれ拜謁を賜はつたが、元帥陛下には午前十時半、大將、中將は午後一時半、宮中に參内、東條首相、嶋田海相、杉山參謀總長、岡軍令部總長、梅津參謀次長、東久邇宮、賀陽宮兩殿下、木戸内大臣、鈴木侍從長、藤田侍從武官長、百武侍從次長、河邊侍從武官長、奥村侍醫長、小泉侍醫頭、三浦侍醫、入江侍醫、高橋侍醫、小林侍醫、小畑侍醫、小松侍醫、小金井侍醫、小原

大東亞戰完遂誓ひ
宸襟を安んじ奉る
十二日・全島民拜禮の日

◇當日の各戸掲揚を掲揚すること
（各戸各官廳、學校、會社等全部）
◇時間
一、ラジオ正午報時後二時二十分
二、官廳、學校、會社等全部
午前八時より午後二時二十分
三、官廳、學校、會社等全部
午前八時より午後二時二十分
◇ラジオ正午報時後二時二十分
官廳、學校、會社等全部
午前八時より午後二時二十分
◇ラジオ正午報時後二時二十分
官廳、學校、會社等全部
午前八時より午後二時二十分

米鬼惡虐の極み
病院船に不法攻撃
井口情報局第三部長　鬼畜行爲に抗議

【東京發】井口情報局第三部長は十二月一日午後二時半内外人記者團に對し左の如く發表した

戰力增强に脂粉追放
逞まし女性戰士
四十五名を表彰

日歸臺灣本部

活氣あがる石油の都ベンメン
讃ふべし新たな決意捧げよ
國民の決意促す

吾れ出ずんば……
血書を添へて志願
海南島在住張君陸軍志願へ

不動の精神を持て
東條さん入營學徒に說く

羅東郡下詳さに視察
蘭陽地方初度巡視第二日

臺北州學校號」
献金で決戰に挺身
輝やく「勤勞報國」の楯

翔ぶぞ「臺北州學校號」
赤誠結び八日資金獻納式
献金で決戰に挺身

身は鴻毛義は磐石
楠公二代の忠誠垂範
防諜思想を昂揚

梅干と日の丸弁当
温き慈愛の手
寺田氏園圃の人に椅子寄贈

空襲に備へ
頭巾の用意
臺北州兵防課、家庭人に要望

花蓮港廳山の同胞大會
新竹州立敎化道場竣工式

金屬回收改正
令解說會

花蓮港廳市長
郷守會議

新竹州產業
品評會

今夜の番組
明朝の番組

修行大佛
村松梢風作
中ノ一　二彌壹

戰爭と科學
軍用機獻納に突擊
基隆部、荒川郡守率先垂範

學徒動員
軍需工場へ
新竹州下の配置決る

防空演習
本島人の參加
新竹州下の實施要領

産業增産團體協
大日本婦人會臺北支部では來る七日の興亞奉公日に際し

輝やく「勤勞報國」の楯
献金で決戰に挺身

新竹州產業
品評會

今夜の番組
明朝の番組

修行大佛
村松梢風作
中ノ一　二彌壹

肺患
結核を根絶
金剛湯
臺北市榮町一丁目
電話一九〇番